

令和6年12月26日  
国土交通省関東地方整備局  
企画部

## 「建設現場における遠隔臨場取組事例集（関東地方整備局版）」の 第2版を作成しました！

～設計変更協議における遠隔臨場の活用事例を追加し働き方改革の更なる推進～

建設現場における遠隔臨場については、関東地方整備局では令和4年6月より全ての工事（営繕関係、港湾空港関係を除く）を対象に本格的に実施し、令和5年9月に「建設現場における遠隔臨場取組事例集（関東地方整備局版）」として現場での工夫事例を取りまとめたところですが、今回、設計変更協議において活用し効率化を図った事例を追加しました。今後も継続して普及に努めるとともに、受発注者の業務効率化の促進を目指します。

### 【本事例集の内容及び主な特徴】

工期末が令和6年7月1日以降の工事を対象に、建設現場における遠隔臨場に取り組み、工夫を実施した以下の事例を第2版として追加掲載し（計22事例）、工夫を実施した事例は、説明時間や資料作成に要した時間、資料のボリューム（枚数）等の観点で効果を定量的に記載しました。

#### 1. 設計変更協議（遠隔臨場）

設計変更協議において遠隔臨場を活用し、説明の効率化を図った事例（5事例）

#### 2. 段階確認、材料確認、立会

段階確認、材料確認又は立会において遠隔臨場を活用し、説明の効率化を図った事例（12事例）

#### 3. その他（Web会議）

設計変更協議においてWeb会議を活用し、動画や3Dモデルにより説明の効率化を図った事例や今後の遠隔臨場の活用により効率化が見込まれる事例（5事例）

※「建設現場における遠隔臨場取組事例集（関東地方整備局版）」は関東地方整備局ホームページに掲載しています。

掲載場所：関東地整HP > 技術情報 > 公共工事の品質確保 > 建設現場の遠隔臨場

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 埼玉県政記者クラブ

<問い合わせ先>

関東地方整備局 企画部

電話：048-601-3151（代表） FAX：048-600-1375

技術管理課 課長 佐藤（さとう）（内線：3311）

技術調査課 課長補佐 伊藤（いとう）（内線：3252）

## 【本事例集の内容及び主な特徴】

- ・ **22事例を追加掲載**…設計変更協議（遠隔臨場）：**5事例** 段階確認・材料確認・立会：**12事例** その他（Web会議）：**5事例**
- ・ **設計変更協議の掲載**…新たに設計変更協議で活用した事例を掲載し、今後、各現場での業務効率化のヒントとして活用されるよう周知
- ・ **効果を定量的に評価**…工夫を実施した事例は、説明時間や資料作成に要した時間、資料のボリューム（枚数）等の観点で評価

## 設計変更協議（施設点検結果の説明）

## 土木工事



### 〈実施内容〉

説明内容	動画、遠隔臨場の活用により工夫した点	効果
・施設点検時に確認された損傷箇所の説明	・動画撮影及び口頭説明（撮影位置、方向、事象等）を添えることで、施設点検において確認された損傷箇所を関係者（複数人）が同時に視認できた。	説明時間、資料作成に要した時間 ・従前：約4時間（1人×2時間） ・今回：約2時間（1人×1時間） ・効果：約2時間の削減 ※移動時間も含む
		資料のボリューム ・従前：説明資料約1枚 写真約10枚 ・今回：説明資料約1枚 写真約5枚 ・効果：説明資料約0枚 写真約5枚の削減 ※映像で確認できたため、現状把握が向上した。職員の指示で撮影箇所を適宜修正。

### 〈工事概要〉 R6小名木川管内左岸維持管理工事

工期	R6.4.1 ~ R7.3.31
実施期間	R6.4
工事内容 (主工種)	除草工 雑工 塵芥処理工
事務所	荒川下流河川事務所
受注者	関工工業株式会社

事例の類型ごとに工夫点を整理

・効果は、説明時間や資料作成に要した時間、資料のボリューム(枚数)等の観点で定量的に評価。

・施工者(受注者)や監督職員(発注者)が活用して感じた「効果」や「今後の課題」など、現場からの生の声を掲載。

・活用状況の分かる写真を掲載。  
 ・「遠隔臨場の初心者」でも分かりやすい事例集としている。

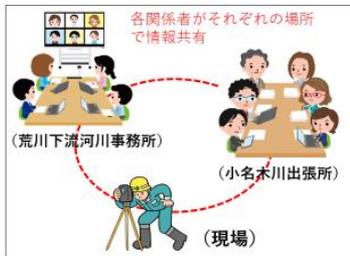
### 〈実施状況〉



【確認したい箇所を指示（発注者側）】



【指示に基づき現地映像を送信（現場側）】



### 〈現場の声〉

#### ●施工者（受注者）

##### 〈効果〉

- ・点在する関係者とリアルタイムで情報共有でき、関係者の意思疎通が向上
- ・映像を録画できるので、後日の確認も容易となる。

##### 〈今後の課題〉

- ・カメラの性能により夜間時や雨天時の映像が不明確になる。
- ・橋梁下など高層構造物付近では、映像が途切れることがある。

#### ●監督職員（発注者）

##### 〈効果〉

- ・事務所から現場までの距離がある場合、移動時間の短縮となり効果的。
- ・関係者複数人での臨場が可能で同時に共有しやすい。

##### 〈今後の課題〉

- ・周りの状況によっては音声聞き取りづらい。
- ・カメラの性能によって、目盛りの数値等、細かな文字の確認が難しい事がある。

【遠方の関係者で情報共有（発注者側）】



【首掛けホルダーの使用（現場側）】